

新潟日報140年記念映画

# 「ミッドナイト・バス」

## 竹下昌男監督トークショー

—風光明媚な新潟のロケーションを舞台に  
繰り広げられる家族再出発の物語—



ほぼ全編新潟ロケ

■ 日時 12月15日(金) 13:30~14:30

■ 会場 表参道・新潟館ネスパス 3F

■ 講演 映画監督 竹下昌男

聞き手 新潟日報論説編集委員 大塚 清一郎

■ 定員 先着80名様 (事前申込不要)

参加  
無料

終了後、映画特別鑑賞券や万代バスセンターレトルトカレーなどが当たる抽選会を行います

新潟日報140年記念映画「ミッドナイト・バス」が2018年1月20日(土)に新潟県内で先行上映後、27日(土)より全国公開されます。6年前に製作された「この空の花—長岡花火物語」の監督補佐を務めた竹下昌男氏が監督、主演に原田泰造を迎え、新潟市を中心に三条市、佐渡市、弥彦村など、ほぼ全編を本県で撮影しました。

原作で描かれた新潟県民の優しさや粘り強さが、美しい新潟の風景とともに、スクリーンに映し出されます。是非、劇場でご覧ください。



新潟日報社ふれあい事業部 電話025-385-7144(土日祝除く平日)



1960年生まれ、大分県出身。

CF制作会社のプロダクション・マネージャーを経て、東陽一監督『ジェラシー・ゲーム』(82)でフリーの助監督となる。その後、藤田敏八監督『リボルバー』(88)、大林宣彦監督『青春デンデケデケデケ』(92)、『はるか、ノスタルジィ』(93)、原田真人監督『バウンス ko GALS』(97)、エドワード・ヤン監督がカンヌ国際映画祭監督賞を受賞した『ヤンヤン 夏の思い出』(00)など多数の作品に参加、助監督としてキャリアを積む。

93年以降、『乳房』(93)、『絆-きずな-』(98)ほか、主に根岸吉太郎監督に師事する。

04年、長編映画『ジャンプ』で監督デビュー。

新藤兼人賞銀賞、第8回みちのく国際ミステリー映画祭・新人監督奨励賞グランプリを受賞。

11年、大林宣彦監督の監督補佐として『この空の花 -長岡花火物語』の制作に参加、AKB48のミュージック・ビデオ「So long !」(13)のセカンドユニット・ディレクターも務める。

[監督] **竹下昌男**

Masao TAKESHITA

ネスペース 2F 観光センターにて

「ミッドナイト・バス」

**前売り券販売!**

特別鑑賞券 **1,000円**

販売期間

**12/11**(月) ~ **12/24**(日)



もれなく  
映画関連グッズ  
プレゼント!!

映画チケットのお問い合わせは、**TEL 03-5771-7755**



表参道・新潟館 ネスペース 2F

**新潟県東京観光センター**

営 10:30 ~ 18:30

休 年末年始 (12/29 ~ 1/3)



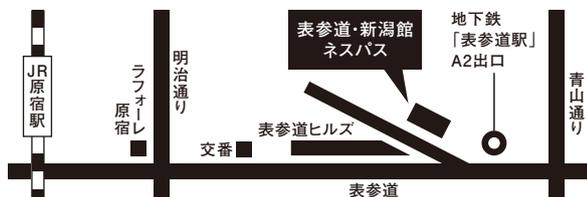
表参道・新潟館 ネスペース

TEL 03-5771-7711(代)

<http://www.nico.or.jp/nespace/>

NESPAC  
表参道・新潟館

〒150-0001 東京都渋谷区神宮前 4-11-7



表参道駅 A2 出口から徒歩1分